○　令和8年度水産基盤整備予算の確保に関する要望

当協会では、漁港・漁場・漁村の総合的な整備促進を図り、もって本県水産業の発展と地域の活性化に寄与するため、関係省庁や国会議員への要望行動を行っています。

本要望のとりまとめにあたっては、毎年、県内漁業関係者の「浜の声」を集約し、九州地区漁港漁場協議会及び全国漁港漁場大会に要望書を提出し、ここで決議された提言をもって、（公社）全国漁港漁場協会と各都道府県協会が連携・分担しつつ、農林水産省、財務省、国会議員など関係先に対し標記にかかる次年度の予算確保等について横断的な要請活動を展開することとしております。

このため、当協会では 10 月 29 日に全国大会提言の実現要望と併せ、当協会独自の要請活動として本県選出国会議員、水産庁長官、漁港漁場整備部長他幹部職員に対し個別要望をいたしました。

（1）全国大会提言書及び独自要望書を地元選出国会議員へ手渡す比田勝会長
（左：古賀友一郎参議院議員、中央：西岡議員と英利（エリ）アルフィヤ外務大臣政務官、
右：西岡秀子衆議院議員）

（2）独自要望書を藤田仁司水産庁長官、中村隆漁港漁場整備部長へ手渡す比田勝会長

（3）本県独自要望書を説明する比田勝会長と幹部職員（左から新村防災漁村課長、的野事業課長、
渡辺計画・海業政策課長、中村漁港漁場整備部長、会長、不動県水産部参事監（右））ほか

（４）要望に対する熱心なご対応

○　協会独自要望事項（骨子）

1. 水産基盤整備等の推進について

2. 磯焼け対策の推進について

3. 有明海等内湾海域における環境改善対策の促進について

4. 海洋漂着物対策について